中学生の皆さん、保護者の方からいただいた疑問・質問にお答えします。

Ｑ１：藤島高校にない強みは何ですか？

Ａ１：高志高校の強みは、常に新しいことに取り組もうとする姿勢を持っていることです。併設型中高一貫教育、ＳＳＨ・ＳＧＨ、選択型研修旅行（コロナ禍のため見合わせ中。今後再検討の可能性あり）、進学型単位制教育課程など、これまでいろいろなことに取り組んできました。来年度は、特色選抜の新規導入や新入生の新しいクラス編成を行います。

本校では、生徒の皆さんに、自らの意思で選択すること、選択したことに粘り強く努力し続けることを求めます。自分のやりたいことを見つけ、校内における学習や諸活動のほかに、校外の活動にもエネルギーを注ぐ生徒は少なくありません。

高志高校は、生徒の皆さんの「やりたい！」「なりたい！」をかなえる学校でありたいと思っています。様々な選択肢の中から自分で選んだことにチャレンジして、将来の社会づくりに役立てたいと思う人にとっては、本校で学ぶことが大きな強みとなるでしょう。

Ｑ２：高志高校にしかない魅力を教えてください。

Ａ２：高志高校の魅力は、いろいろあります。例えば、

・自由闊達で、進取の精神があふれている。
・社会で生きる力を身につけることに重点を置いている。
・生徒一人ひとりのニーズに応え、夢や希望を実現させようとする。
・個性ある人と出会い、かけがえのない仲間作りができる。
・生徒の高い志の実現を最後まで応援する教職員がいる。
・県内企業や卒業生など、校外に多くの支援者・協力者がいる。

などです。現時点では、説明動画や案内資料等から読み取っていただくしかないのですが、皆さんが本校に入学されれば、これらの魅力は実感を伴って感じられるようになると思います。

これ以外にも、様々な魅力があるはずです。皆さん自身で見つけてみてください。

Ｑ３：高校からの入学生が疎外感を感じないかどうかが心配です。

Ａ３：高校から入学する皆さん（高入生）が、高志中出身者（内進生）との違いを不安視されているということでしょうか。ですが、その心配は、全く必要ありません。

内進生はすでに高志での学校生活を経験しているので、高入生の皆さんよりは高志のことを知っています。学校のことで分からないことがあれば、内進生に聞けばいろいろと教えてくれるでしょう。そのようにして早い段階から人間関係を築くようにしてください。

高志中出身の生徒も、高入生の皆さんと同様、高校生活への期待や不安を抱いて高志高校に入学します。同じ高校生として、いろいろな思いや考えを共有しましょう。高志中だけでなく、様々な中学校から来る人たちとのコミュニケーションを深め、切磋琢磨できる仲間になってくれることを願っています。

私たち教職員は、出身中学校の別に関係なく、「すべての生徒が高志高校の大切な生徒」という気持ちで対応します。

Ｑ４：高志高校生は、平日と休日で何時間勉強していますか。

Ａ４：個人差はありますが、調査では、全校平均１日３時間程度です。平日は、授業の予習や復習等で３～４時間以上、土日は弱点克服や得意分野をさらに伸ばすため、６時間以上の家庭学習を推奨しています。

Ｑ５：どのような授業をするのか、授業内容を教えてほしいです。

Ａ５：各教科の学習においては、必要な知識等を習得すること、考える力や判断する力などを伸ばすこと、情報を整理・活用してアイデアをまとめたり新しい考えを生み出したりする力を養うこと、などが求められます。学習内容は、質・量ともに、学年が進行するにしたがって上がり、大学入試で必要とされるレベルへの到達を目指します。

授業では、特に、生徒同士が対話したり一緒に考えたりしながら、主体的・探究的に活動することを念頭に、学びをすすめます。そのため、予習の際に目標や疑問点を明確にすること、積極的に質問するなど能動的な姿勢をもって授業に臨むこと、学習内容の定着のために復習に時間をかけることなどを心がけることが大切です。

Ｑ６：高志中学校から内部進学してくる生徒たちとの、学習内容や進度の差は、高校ではどのように対応していくのですか？

Ａ６：高志中学校の生徒は、数学と理科で高校の内容を一部先取りして学習しています。このため、高校では、内進生と高入生は、これらの教科では異なる科目を学習します。

高志高校では、従来から、多くの教科・科目において２年次までに教科書の学習内容をほぼ終え、３年次には大学入試に対応するため、より高度な学習を行ってきました。高入生の数学・理科も、学習範囲は３年次までに内進生に追いつくので、３年次には同じ講座で授業を受けます。

なお、学習内容の定着に時間がかかるなど、学習に困り感を抱いている生徒に対して、個別の学習支援等を行います。

Ｑ７：高志学について、詳しく知りたいです。また、これについても高校からの入学生への対応なども知りたいです。

Ａ７：高志中学校で行っている「高志学」では、ふるさと福井に焦点を当て、地域の発展や問題点解決のための課題研究を通して、未来社会の創造に必要な思考力・判断力・表現力等を養います。高志高校では、探究学習を行う授業「ＫｏＡ」で、高入生と内進生が一緒に課題研究に取り組みます。研究の対象は理数分野や人文分野等にも広がり、自分でテーマを選ぶことができます。

３年間の大まかな流れとしては、１年次は研究に必要な基礎的な内容を学び、２・３年次はグループでの課題研究に取り組みます。校外でのフィールドワークや企業等とタイアップした研究等に取り組むグループもあります。また、研究発表は校内だけでなく、校外の発表会や学会等で発表する生徒もいます。これらの内容は、大学受験（推薦型入試等）の際に活用することができますし、大学入学後の学問・研究にも役立つものと考えています。

Ｑ８：高校でも中学校と同じく卓球部に入りたいと思っています。卓球部について教えてください。

Ａ８：卓球部は、「努力した先に見える景色をみんなで見よう」をチームの合言葉にしています。

練習は、日本代表のコーチなどを講師に招いての技術講習会や、県営体育館を借りての練習会等も行っています。身体の使い方に着目することで、疲れにくい身体づくりをしたり少しの力で大きなエネルギーを生み出したりできるようになるなど、短期間での上達を目指します。また、メンタルトレーニングも取り入れています。緊張しない、集中力を高める、時間の使い方を上手くするなど、卓球だけでなく、学習や生活にも役立つ内容です。大会期間等を除き、平日は水曜日を、土日はどちらか１日を休みとしています。

「人間力の向上なくして技術の向上なし」。あいさつや時間を守るなど、当たり前のことができるようになることも大切にしています。

運動部・文化部を問わず、他の部にもそれぞれ特徴があります。入学後に、興味ある部を見つけたら、ぜひ入部して活動に参加してください。

Ｑ９：女子テニス部では、男子と練習することができますか？

Ａ９：テニス部の練習コートは、男女が隣り合っていますから、女子部員が男子部員と一緒に練習することは可能です。また、種目によりますが、他の部においても、男子・女子が一緒に練習を行うことは可能です。皆さんが入学後、部活動の説明会や見学会を行いますから、分からないことがあればそこで質問してください。

中学生・保護者の皆様、
たくさんのご質問、ありがとうございました。

令和４年９月

福井県立高志高等学校長　山内　悟